

ぼうさい みくまじろ



No.5

H28. 9. 2 発行

みくまの支援学校
育友会 防災研修部

夏休みを利用して 教職員消火・火災避難訓練

8月1日（月）、児童生徒が下校したあと、教職員全員で消火・火災避難訓練をおこないました。今回は、消火器や消火栓の正しい使い方や、火災発生に対して迅速な行動や児童生徒への適切な対応方法等について、消防署の方を講師に迎えて行いました。

暑い中での訓練でしたが、実践しながら熱心に取り組むことができました。

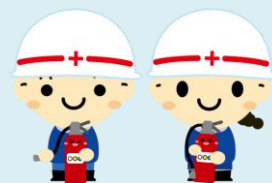


消防署の方から説明を受けました。



消火栓の訓練の様子

消火訓練では、実際に消火器（水が出るもの）を使って行いました。また消火栓の使い方を消防署の方に教えてもらい、実際にホースを外へ出して水の出る勢いなどを体験的に学びました。しっかりと練習をしておくことで、実際に火災になった時に対応できます。



消火器の訓練の様子

ご案内 防災研修部会

○日時 9月15日（木）13:00～14:30

○場所 みくまの支援学校 会議室



ご参加をお願いします。

ワークショップ実施 2次避難について

本校教職員で組織している「防災プロジェクト」のメンバーで、「地震が発生し、体育館に児童生徒・教職員全員が避難した」という想定で、今後どうしていくかということについてワークショップ形式で研修をおこないました。

今後、たくさんの意見をまとめ、マニュアル作りにつなげていく予定です。



「児童生徒」「施設管理」「情報収集」「避難者対応」「その他」の項目について各自で対応を考えました。



1枚の模造紙では整理できないくらいたくさんの意見が出されました。出された意見について参加者全員で共有しました。

福祉避難所 相互の連携を！

本校は、平成27年3月2日に新宮市の福祉避難所に指定されました。本校の児童生徒が居住する地域にも福祉避難所があります。

障害者施設や高齢者施設が中心です。今後、本校の児童生徒が利用しやすいように学校として各施設間との連携を図っていきます。



みくまの方丈記 ③ ～桜と防災～



櫻本校長先生による特別寄稿です。

昨年、入学式の式辞でハナミズキをとりあげた。1910年、尾崎行雄東京市長はアメリカに桜の苗木を贈った。残念ながらこの苗木がワシントンに到着したときには病害虫に侵され、全て焼却処分となってしまう。しかし市長は諦めず、品種改良し害虫に強い苗木を作り、2年後に3020本の苗木を全て健康な状態でワシントンに送り届けた。その3年後の1915年、今度はアメリカからハナミズキが届いた。昨年は丁度、返礼100年目の年だった。春になるとポトマック河畔では桜祭りが行われ毎年70万人ほどの人で賑わうという。土手に植えられた桜は防災にも役立つのだそうだ。理由を知りたい方はネットで「土手の花見の防災」を参照願いたい。

2011年3月11日、東北地方太平洋岸を津波が襲い大災害となった。いち早く駆けつけ、救命と支援にあたられた自衛隊の方々と共に、トモダチ作戦で力を貸してくださったアメリカ軍の方々の姿は今もまぶたに残っている。尾崎市長がアメリカに桜を贈ってから100年後のことであった。